

# 民生福祉常任委員会 行政視察報告

平成26年8月26日

## 1、日時、視察先、調査事項

①平成26年8月4日	愛知県豊田市	幼保一元化について
②平成26年8月5日	愛知県犬山市	ごみ焼却場の包括的民間委託
③平成26年8月5日	岐阜県可児市	Kマネーについて
④平成26年8月6日	岐阜県各務原市	火葬場建設について

## 2、参加議員

下瀬俊夫委員長、矢田松夫副委員長、石田清廉委員、岩本信子委員、小野泰委員  
三浦英統委員、吉永美子委員

## 3、調査事項

### (1) <豊田市> 幼保一元化について

- ①子ども条例制定の背景と子ども総合計画策定の経緯
- ②子ども部設置の経緯と目的
- ③幼保一元化及び認定子ども園について
- ④その他（子ども会議、子どもの権利擁護委員など）

---

\*愛知県豊田市 人口 422,340 (H26.8)

H26年度予算 1,685億円(内64.4% 1,085億3,148万円が市税)

---

#### ①子ども条例制定の経緯と子ども総合計画策定の経緯

\***子ども条例**の制定過程を重視し、市民と行政の共働による条例づくりのため、平成17年10月から市民参加の**子ども条例検討部会**を設置した。

特に子どもの意見を条例に反映させるため40人の中高生が**子ども委員**として公募された。

\***子ども委員**は検討部会と共同で子ども条例検討ワークショップを開催し、平成18年の夏休みに13チームが26の中学校区で**地域子ども会議**を運営した。これには470人が参加して5千件を超える意見が集約された。

\*条例検討ワークショップの意見と合わせて約6千件の意見を6分野97項目に集約され、支持投票により11項目と順位を絞込んだ。

\*これらの意見を基にとよた**子ども市議会**が開催され、市長などに具体的な提案、要望を行った。その後、検討部会の条例案起草ワーキンググループと並行して**子ども委員起草ワーキンググループ**の会議を3回開催し、子ども委員のみで条例案の検討や検討部会との意見交換を行った。

\*平成19年9月議会で**豊田市子ども条例**が可決された。

[http://www.city.toyota.aichi.jp/reiki\\_int/reiki\\_honbun/i513RG00000866.html](http://www.city.toyota.aichi.jp/reiki_int/reiki_honbun/i513RG00000866.html)

\*子ども条例第6章に**子ども総合計画策定**を義務付け、子どもに関する施策の推進と検証を進めている。(平成22年策定～平成26年)

## ②子ども部設置の経緯と目的

- \*平成13年度に幼稚園(教育委員会)と保育所(市長部局)を所管する部署を統一し、市長部局の社会部に**子ども課**を創設。義務教育を除く子どもに対する行政施策の一体的推進と窓口の集約で市民の利便性を高めた。  
平成17年度の機構改革により**子ども部**に昇格。次世代育成課、子ども家庭課、保育課が置かれ、保育課で幼稚園と保育園を所管している。

## ③幼保一元化及び認定こども園について

- \*昭和41年に市独自の4、5歳児の保育園・幼稚園全員就園施策により、保育に欠けない児童を**私的契約児**として保育園で受け入れてきた。
- \*昭和45年以降、幼保一体化から保育内容の統一化を進めるため、市立の幼稚園、保育園の人事交流を行ってきた。配置転換、研修の合同実施など行い、平成15年度より幼稚園教諭と保育士の職名を**保育師**に統一した。
- \*平成3年に豊田市幼稚園・保育園教育課程を策定し、4、5歳児のカリキュラムを統一し、**幼稚園と保育園の保育内容の共通化**を図ってきた。
- \*平成17年度、国の総合施設モデル事業を市立保育園で実施。  
幼保一元化検討部会を設置し、6回の審議により幼稚園、保育園の一体的な基本方針が策定された。
- \*平成20年度から ①施設の名称を幼稚園、保育園から**こども園**に統一。  
②職員の配置基準を統一。③保育料の保護者負担の統一と負担軽減。

## ④子ども会議、子どもの権利擁護委員など

- \***子ども会議**は平成20年6月子ども条例に基づき設置された。
- \*市内在住の小学校5年生から18歳未満の子ども23人(小7人、中13人、高3人)を公募で選出。(任期1年。毎月1回程度の会議開催、会議は公開)  
子どもに関する施策について子どもの意見を聞き、主体的な活動、参画の促進などを図る。
- \***子どもの権利擁護委員**(条例20条)、**子どもの権利相談員**(規則第7条)  
**擁護委員**は弁護士1、大学教授2の3人で構成。任期2年。  
毎月4日2時間程度。申し立てを受けて調査・実施を行う。
- \***相談員**は特別任用職員。(社会福祉士資格者など)、擁護委員の補助。  
2~3人体制で週5日、1日7.5時間。
- \***子育て支援センター**(通称「あいあい」)、デパートのワンフロアを借り上げ、他の団体と共有で活用し市民に親しまれ利用しやすい施設にした。

## ◎<考察>

1. 子どもの権利条約の具体化である子ども条例策定過程で、6千件の子どもたちの意見集約を子ども自身の手で行っており、条例制定後も公募の子ども会議を常設し、子どもの意見を行政に生かす努力をしている。
2. 子ども部を設置し総合窓口にしたことは当市も大いに参考にしたい。

## (2) <犬山市> ゴミ焼却場について

- ① ゴミ焼却場の包括民間委託における業者選定の経緯  
入札業者の選定から落札までの経過
- ② DBO方式での包括民間委託にしなかった理由
- ③ 包括民間委託を打ち切る理由
- ④ その他（今後のゴミ焼却場の民間委託の方向性など）

---

\* 愛知県犬山市 人口74,864(H26.8)

H26年度予算233億104万円

---

### ① ゴミ焼却場の包括民間委託における業者選定の経緯

\* 犬山市のゴミ焼却場は、犬山市都市美化センターとして昭和58年3月竣工、4月より稼働した。しかし施設の老朽化による処理能力の低下や維持補修費が年々高額になったことから、大規模補修工事が必要となり平成18年度から3カ年かけて、8億円の工事費で延命化を図った。

\* 平成22年2月に審査委員会を設置し、公募型プロポーザル方式による公表（発注条件書、発注仕様書の配布）、参加資格要件書の受付、審査（資本金5千万円以上、運転管理の実績）、プレゼンテーション、技術審査（評価）、指名業者の決定（当初10社が3社に絞られた）、入札、落札業者の決定（当局の積算より約3億円程度安くなった。人員は25人体制）。10月1日業務開始。

\* 処理能力45t/24h × 2炉、燃焼設備 ストーカ方式（本市も同様な処理能力）

\* 平成22年10月から平成26年3月までプラント建設業者と包括民間委託を行ってきた。（包括的運営管理委託 11億5,483万円）

### ② DBO方式での包括民間委託にしなかった理由

\* 大型補修工事であり、DBO方式を採用して施設の設計、建設、運転までを考慮していなかった。当時は運転管理のコスト削減が主な理由。

### ③ 包括民間委託を打ち切る理由

\* 瑕疵担保設定期間に包括民間委託を行って経費の節減に努めてきた。

\* 平成25年度末で包括民間委託が満了となり、その後も検討してきたが、現センターを維持するための補修費を包括委託契約に盛り込むことが適当かどうか見直しの意見等や財政事情から、平成26年度については機器の補修に関しては委託から切り離し、直営で工事発注することにした。

現在は単なる運転管理の民間委託としている。

### ④ その他（今後のゴミ焼却場の民間委託の方向性など）

\* 現在、平成30年度の供用開始を目標に、犬山市を含めた2市2町の広域的な廃棄物処理施設の建設計画が進行しており、今後の民間委託は未定。

## ◎＜考察＞

1. 包括的民間委託の手法では経費の財政負担で問題がありそうだ。
2. 民間委託を実施する場合の職員の雇用対策は十分な対応が必要だ。

### (3) ＜可児市＞ Kマネーについて

- ① Kマネーを作った背景とその効果、市民の関心。
- ② 福祉行政の中でのKマネーの役割と位置づけ
- ③ Kマネーの今後の課題など
- ④ その他(Kマネーが使える範囲の拡大など)

---

\*岐阜県可児市 人口100,906(H26.8)

H26年度予算 277億2000万円

---

#### ① Kマネーを作った背景とその効果、市民の関心。

\*平成26年度から少子高齢化社会に対応する新しい取り組みをスタート。

1. 市民あげての地域社会への貢献活動を全面的に応援し活発化させる。
2. 地域の中小業者の新興と消費拡大を図る。

この2つを正面に掲げて地域通貨のKマネー事業を開始した。

\*社会貢献システムとして、ボランティア登録をした市民を対象に、活動に応じて1時間に1ポイント付与される。1年間で100ポイント(1万円)までプールでき、市で発行する地域通貨Kマネーと交換できる。

\*このKマネーは市内の登録店(約250店)で買い物ができる。登録店は金融機関で換金できるが、換金の際1%を社会貢献協力金として負担し、Kマネーの財源として活用される。

\*このKマネーは、市の住宅リフォームなどの報償費や補助金の一部としても交付される。平成26年度の予算は4,000万円を当てているが、社会貢献関係が400万円、住宅リフォーム関係が3,000万円で残りは経費。

将来はKマネー関連予算を1億円程度まで拡大したい。ここまで拡大すると消費生活の上からも地域通貨として定着する。

#### ② 福祉行政の中でのKマネーの役割と位置づけ

\*社会貢献システムは市民、事業者、行政の3者がそれぞれの役割を担い、一体となって地域の支え合いの仕組みを構築すると同時に、地域経済の活性化を図る新しいシステムとして検討した。

\*当面、社会貢献ポイントが付与できるボランティア活動は市が指定した団体に加入して施設ボランティアが中心だが、徐々に対象を拡大したい。

しかし自分の介護のために活用できるポイント制度にはしない。

#### ③ Kマネーの今後の課題など

\*事業の主目的である福祉行政としての社会貢献と、地域経済の活性化としてのKマネーの位置づけが曖昧で、市民の理解が今後のカギとなる。

#### ④その他(Kマネーが使える範囲の拡大など)

\*地域コミュニティの活性化を図り、今後は行政が主導して使える範囲を順次拡大したい。またKマネーそのものを販売し流通を拡大したい。

#### ◎<考察>

1. 山陽小野田市でも高齢者の介護予防や活躍の場づくりを目的にしたボランティアポイント制度があるが、市民一体での取り組み、特に若い世代や事業者等への社会貢献活動に対する理解と参加の場づくりなどは参考にした。

#### (4) <各務原市> 火葬場建設について

- ①火葬場建設の経緯と建設に当たったのコンセプト
- ②火葬場建設に向けての審議会等の議論や意見集約
- ③その他(他市市民の火葬状況と調整など)

---

\*岐阜県各務原市 人口148,635(H26.8)

H26年度予算 422億4000万円

---

#### ①火葬場建設の経緯と建設に当たったのコンセプト

- \*旧火葬場は築後33年が経過し、老朽化に加えて待合室などが市民に不評で、平成14年に市長に届いた1通の手紙のなかで厳しい指摘を受けた。市総合計画では平成22年度に現在地への建て替えが計画されていたが、市長が前倒しを決断した。
- \*平成15年に火葬場建設の参考のために市職員と石川幹子(中央大学教授)氏スウェーデン、ストックホルム市の森の斎場(スコグスシュルコゴデーネー1940年代に建設され世界遺産に登録)を視察した。
- \*東京・青山墓地、ストックホルムの森の斎場、円覚寺の庭園空間などを念頭に、斎場と火葬場、墓地を一体とした公園墓地をコンセプトにした。

#### ②火葬場建設に向けての審議会等の議論や意見集約

- \*火葬場改築検討委員会を設置し5回の委員会を開催して検討した。平成15年12月から3回の地元説明会を開催。「どうせ建設するなら、良い施設にしてほしい」との意見で集約され反対意見はなかった。
- \*火葬場の設計は著名な伊東豊雄氏、公園墓地は石川幹子氏が行った。(斎場は平成20年建設業協会賞(BCS賞)、公園墓地は平成25年土木学会デザイン賞を受賞)
- \*平成17年4月に戸田、市川、天龍特定建設共同企業体が建設に着手。
- \*建設費など
  - 合併特例債 11億1,350万円
  - 一般財源 2億329万円 合計13億1,679万円(当市14~16億円)

- 火葬部門 人体炉 6 基、動物炉 1 基、告別室 2 室、収骨室 2 室
- 待合部門 待合室(和室 1、洋室 2)、待合ロビー、霊安室
- 供用開始 平成 1 8 年 6 月 3 日 鉄筋コンクリート 2 階

\*管理は直営と委託の併用方式。火葬炉業者と 3 年間の随意委託契約(委託料 2 億 5 千万円)を行っているが指定管理ではない(市職員 1 名、委託職員 4 名)。

\*斎場の休日にホールで年数回の無料コンサートを行っている。(120 定員)

### ③その他(他市市民の火葬状況と調整など)

\*インターネットで火葬の予約ができる。

\*市外住民の火葬料は 4 倍に。

火葬料等	単位	市民	市外住民
12歳以上	1 体	10,000円	40,000円
12歳以下	1 体	8,000円	32,000円
死産児	1 体	5,000円	20,000円
待合室(和室)	1 回	3,000円	12,000円

### ◎<考察>

1、火葬場＝墓地(3,000区画)＝迷惑施設のイメージはない。

隣接して1万人が住む住宅団地があり散歩やジョギングコースとなっている。

2、玄関ホールやエントランスホールなども独特の設計になっており、開放的で風景にマッチした静かなたたずまいとなっている。

3、火葬炉自体も扉を閉めると火葬場と思えない設計になっており、市民の目から隠した迷惑施設ではなく、市民が寄り付きやすい施設となっている。

